

複式学級 総合的な学習の時間学習指導案

授業者 豆野 元春

授業② 複式学級教室

1 単元名 海外の人に金沢の冬の魅力を広めよう

2 小単元のねらい

金沢市の冬におけるインバウンド事情について知り、市観光協会がもつ思いや願いに気付くとともに、金沢市の冬の魅力について多様な方法で情報を収集、整理、分析することを通して理解を深め、それらを海外の人に向けて広げるための企画を立案し、実現に向けて計画を進めていくことができる。

3 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
②海外の人に金沢の冬の魅力を広めるための方法や内容について話し合う中で、自分と違う考えの良さを見付けるとともに、みんなが納得できる考えを見つけている。(調整力) ③外国人旅行客の目的や傾向に応じて、伝えたいことについて考えている。(伝える力)	① 金沢市のインバウンド事情について知り、そこから課題や解決したいことを見つけ出している。(課題を発見する力) ② 海外の人に広めるべき金沢の冬の魅力について考えを深めるために、様々な方法で情報を収集・整理・分析している。(情報を収集・整理・分析する力)	① 金沢の冬の魅力について気になることを見付け出し、それらについて積極的に知ろうとしている。(好奇心) ② 金沢市のインバウンドに関する課題について、どのようにすれば解決できるのかを考えている。(挑戦心)

4 指導にあたって

(1) 教材観

今年度の複式学級では、金沢市におけるインバウンドについて学習している。

アメリカメディア『ナショナルジオグラフィック』が2024年10月に発表した『Best of the World 2025 (2025年に行くべき世界の旅行先25選)』によると、金沢市は『本物の日本』を体験できる旅行先として日本で唯一選出された場所である。観光庁の資料によると、2019年から2024年の5年間に於ける外国人宿泊者数の伸び率において石川県は全国1位であり、今の日本において海外の人から最も注目されている観光地であると言える。その要因は北陸新幹線開通によって東京からのアクセスが良くなったことだけでなく、古くから残る木造の茶屋街、美しい庭園や城、400年の歴史を持つ金箔を使った伝統工芸など、海外の人にとって「和」を感じることができるものが多くあるからだと考えられる。

一方、金沢市観光協会の資料によると、2023年及び2024年の外国人の年間宿泊者数はどちらの年も4月や10月にそれぞれ月間10万人以上を記録しているが、1月や2月はそれぞれ月間4万人を切っている。つまり、桜や紅葉が見ごろの春や秋のシーズンは好調であるが、冬におけるインバウンドは伸び悩んでいることが問題となっている。そのため、金沢市における冬のインバウンドを向上させる取り組みが必要となっている。

(2) 児童観

本学級の児童は3年生8人、4年生6人の計14人である。4年生は前年度に総合的な学習の時間で金沢の伝統工芸である金箔について学習し、現代の金箔の抱える問題の解決に向けて取り組んだ。

本校に入学する以前は金沢市外や県外に住んでいた子も多く、金沢のよいところについて聞くと、4年生からは金沢箔という意見が挙がる一方、その他の意見はあまり挙がることはなく、金沢についての知識もそれほど多くないのが現状である。

1学期の授業では、まずそれぞれの児童がもつ金沢に対する印象を出し合った。すると他市出身の児童が「(石川県内の)他の市と比べて、金沢市には外国人がとても多い気がする。」と述べ、他の児童からも「確かにそうかも。」「なぜ多いのだろう。」という意見が挙がった。そこから1学期の学習課題を「なぜ金沢には多くの外国人が来るのか」と設定し、インターネットや観光地でのインタビューで情報を収集し、それらを整理・分析することを通して学習課題に対する自分たちの答えを探した。その結果、金沢がもつ歴史的・文化的な建造物や豊かな食文化、そして北陸新幹線開通によってもたらされた主要都市からのアクセスの良さなど、様々な要因が絡み合っていることで外国人インバウンドが増加していることに気付いた。このことを通して、児童は金沢がもつ様々な魅力について改めて再認識することができた。

調整力については、これまでの様々な話し合いの活動を通して自分と違う考えの良さを見付け、みんなが納得する考えになるように工夫しながら話し合いを進める経験を積んできている。国語科学習「クラスみんなで決めるには」では、クラス全体での話し合いを上手に進めるための方法について、話し合い、録画した動画を見直して振り返る活動を何度か繰り返す中で、話の目的を意識することや順序立てて話し合うことの重要性に気付くことができた。しかし、小集団の中で上手く調整力を働かせて話し合いを進める経験がまだ浅く、不十分な部分がある。

情報を収集・整理・分析する力については、これまでの学習で様々な方法で情報を収集する経験を積んでおり、それらをシンキングツールや学習支援アプリを自ら選択して使い、集めた情報を上手くまとめることができる。総合的な学習の時間では、金沢に外国人旅行客が多く訪れることについてインターネットを使って調べたり、兼六園に足を運んで直接インタビューして情報を集め、それらを学習支援アプリ内のシンキングツールを使ってまとめる姿が見られた。また、国語科学習「クラスみんなで決めるには」では、様々な意見が出た際に共通点を見出してまとめることの有効さについて児童と確認することができた。しかし、整理された情報を分析する場面になると上手くまとめることができなかつたり、整理された情報をそのまま発表する姿が見られるため、学習の目的を児童自身が意識しながら情報を分析する力をこれから身につけていく必要がある。

挑戦心については、課題解決に向けて積極的に行動する様子がよく見られる。1学期に校内で行われた音読発表会「ふじだなおとぎ会」に向けて準備をしている際、より発表にリアルさを演出するためにグループ内で相談して様々な方法を試したり、上手くいかなくても諦めずに次の方法を模索していた。

(3) 指導観

指導にあたっては、児童が社会的課題を心から解決したいという気持ちを引き出し、それを意識させ続けながらの学習展開を心掛けていきたい。そのためにはまず、1学期では金沢がもつ観光面の大きな強みを認識した児童に向けて金沢市が抱える冬のインバウンド課題を提示したい。さらに金沢市観光協会の方からお話を伺う機会を設けることで、「金沢には良いところがたくさんあるのにどうして冬の外国人旅行客が少ないのか」や「より多くの外国人に来てもらうために冬の金沢の魅力を発信したい」という意欲を高められるようにする(挑戦心)。また、児童自身が金沢の冬の魅力についてじっくり調べ、それについて深く知る時間を確保することで、児童自身が広めたいと思うことのできる金沢の冬の魅力「冬推し」を見付けさせる。その後、児童と自分達の広めたいことをそのまま外国人に伝えてもよいのかについて考えさせる活動を設けることにより、課題解決に向かうようにしていきたい(挑戦心)。そ

うすることで、1学期の「ふじだなおとぎ会」の準備の時のように、グループで考えたり様々な手法を試したりなど、挑戦心を十分に発揮していくことを期待している。

情報を収集する場面ではまず、何のために・どのような方法で・どんな情報を集めるのかを児童と確認する(情報を収集・整理・分析する力)。自分が広めたいことと外国人が知りたいことが異なる可能性があることについて児童に考えさせることで、外国人のニーズを知るために情報収集することの必要感を感じさせたい。整理・分析の場面でも同様に、自分たちがなぜそれらの情報を整理・分析するのかという目的を意識させていく。そして自分たちが広めたいことと外国人が知りたいことの双方を比較させることで共通点を見付けさせ、広めるべきことを見付ける足掛かりにしていきたい。

本時では、集めた情報をもとに、自分たちが「広めたい」ことから外国人旅行者に「広めるべき」ことを見出す活動を展開する。その集めた情報を整理・分析する場面でグループで話し合う時間を設けることにより、話の目的を意識することや順序立てて話し合うことを駆使し、みんなが納得できる結論を見出すために取り組めるようにしていきたい(調整力)。

5 小単元計画(総時数 28 時間)

時	主な学習活動と児童の思考の流れ ○教師の発問 ・ 予想される児童の思考	★9つの資質能力の育成に関わる手立て	評価
1～8	○金沢市における年間のインバウンドに関するグラフを見て何が分かるかな。 ・春や秋に比べて夏や冬が少ないよ。 ・どうしてこんなにも差が出るのだろう。 ・理由を知りたいな。 ○冬の金沢はどんな特徴があるのだろう。 ・雪が多いよ。 ・兼六園や茶屋街の雪景色があって魅力的だよ。 ・金沢おでんや冬に旬の海鮮が多く出回るよ。 ○金沢市観光協会の深谷さんの話から何が分かるかな。 ・兼六園の桜や紅葉などが有名で、それと比べると他の季節がインバウンドが少ないことが分かったよ。 ・冬の金沢にも魅力的なものがいっぱいあることが分かったよ。 ・観光協会も冬のインバウンドを何とかしたいと悩んでいるということが分かったよ。 ・私たちも冬の金沢の魅力を発信して、海外の人に知ってもらいたいな。	★金沢市における年間のインバウンドに関するグラフを提示することによって、解決したいことを発見できるようにする。 (課題を発見する力) ★金沢市観光協会の方から直接話を伺う機会を設けることで、金沢市のインバウンドに関する課題について、どのようにすれば解決できるのかを考えたいようになるようにする。 (挑戦心)	思① 主②
世界中の人を笑顔に！金沢の冬の魅力を知ってもらおう			
9～13	○金沢にはどんな冬の魅力があるのかな。 ・カニやブリや甘エビなど、海鮮がとても豊かだよ。 ・金沢おでんやかぶらずしなどの郷土料理があるよ。 ・兼六園の雪吊りや武家屋敷のこも掛けなどの風物詩も有名だよ。	★金沢市にはたくさんの冬の魅力があることに気付かせることで、それらに対してもっと詳しく知りたいと思わせるようにする。 (好奇心)	主①

	○外国人に伝えたい金沢の冬の魅力は何かな。 ・ 1 学期のインタビューでは、金沢に来た理由の多くは『『和』を感じるものに触れる』だったから、やはり金沢城か兼六園がいいのかな。 ・ 実際にもう一度外国人に自分たちが調べた金沢の冬の魅力についてどう思っているのかやどこまで知っているのかを聞いてみたいな。		
14～18 (本時)	○外国人にインタビューするには何が必要かな。 ・ どんなことを聞くといいかな。 ・ どのような方法で聞こうかな。 ○金沢駅で外国人にインタビューして何が分かったかな。 ・ 多くの外国人から冬の金沢についての話を聞くことができたよ。 ・ インタビューしたことを整理・分析する必要があるそうだね。 ○インタビューしたことを整理・分析しよう ・ 外国人旅行客の多くが雪吊りに興味をもっていたが、それが何なのかを知らない様子だったよ。 ・ 外国人には金沢おでんがあまり知られていなかったが、食べてみたいという人が多かったよ。味や具材のことについて知らせた方がよさそうだ。	★学習形態を小グループにして行うことで話し合いが生じ、互いが納得できる考えを模索しようとする姿が表れるようにする。(調整力) ★視覚的なインタビュー結果の資料をもとに分析させることで、共通点について見つけやすくする。 (情報を収集・整理・分析する力) ★学習形態を小グループにして行うことで話し合いが生じ、互いが納得できる考えを模索しようとする姿が表れるようにする。(調整力)	技② 思②
19～28	○どのように金沢の冬の魅力を広げようかな ・ どのような方法が一番伝わるかな。 ・ 実際に金沢の魅力を発信している人に会って聞いてみたいな。 ・ 金沢市の観光協会はどのようにして発信しているのかな。 ○2 学期を振り返ってどんな 3 学期にしたいかな。 ・ 3 学期は金沢の冬の魅力発信に向けて頑張りたいな。	★インタビューの分析結果を参考にさせることで、伝えるべき内容を外国人旅行客の目的や傾向に合ったものに行っている。(伝える力)	技③

6 本時の学習

(1) 本時のねらい

収集したインタビュー結果をもとに整理・分析を行い、海外の人に広めるべき金沢の冬の魅力について考えを深めることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

(2) 学習の展開（本時は習得の場面）

時	主な学習活動と児童の思考の流れ ○教師の発問 ・予想される児童の思考	・指導 ◎評価 ★9つの資質能力の育成に關する手立て
5	1. 課題をつかむ ○インタビューしてどうだったかな。 ・外国人が何に興味があつてどんなことを知っているのかが分かったよ。 ・インタビューしたことを整理・分析する必要があるよ。 く私たちが外国人に広めるべきことは何だろうく	・前時までの学習とその目的を全体で確認することにより、本時の学習すべきことを児童が自覚し、それに対する意欲を高められるようにする。
3	2. 活用できそうな学習方法を確認する ○かしわっ子につけたい資質・能力の学習方法のうち、活用できそうなものはどれかな。 ・「情報を収集・整理・分析する力」の「シンキングツールを使う」や「共通点を見つける」が使えるそうだよ。 ・グループで話し合いをするから、「調整力」の「目的を意識する」や「みんなの意見を引き出す」も使えるそうだね。	・掲示してある学習方法の付箋に注目させ、どのような方法が活用できるのかを児童に問うことで、児童がそれぞれの選んだ方法を習得できるようにする。
20	3. 整理・分析を行う ○インタビュー結果からどんなことが分かるかな。 ・外国人旅行客の多くが雪吊りに興味をもっていたが、それが何なのかを知らない様子だったよ。 ・外国人には金沢おでんがあまり知られていなかったが、食べてみたいという人が多かったよ。 ・私たちは何を外国人旅行客に広めるべきなのか。	★インタビュー結果と自分が広めたいことを分析させることで、共通点について見つけやすくする。 （情報を収集・整理・分析する力） ★学習形態を小グループにして行うことで話し合いが生じ、互いが納得できる考えを模索しようとする姿が表れるようにする。
12	4. 学級で共有する ○どんなことを広めるべきだと思ったかな。 ・私たちは雪吊りの意味や歴史などについて広めるべきだと思ったよ。どうしてかというと、……。 ・おでんの具について広めるべきと思ったよ。理由は……。	（調整力） ・広めるべきだと考えた理由を問い、全体で共有することで、それが本当に広めるべき内容であるのかを児童が確かめられるようにする。
5	5. 学習をまとめ、ふり返る ○これからどのようにしていきたいかな。 ・今回の分析で分かったことをもとに、自分たちが外国人に伝えたい内容をブラッシュアップしていきたいよ。 ・どのように広めるのか方法も考えないといけないね。 私たちが外国人に広めるべきことが分かったよ。それは……で、理由は……。	◎収集したインタビュー結果をもとに整理・分析を行い、海外の人に広めるべき金沢の冬の魅力について考えを深めている。 【思考・判断・表現】 （児童の様子・ふり返り等）